

## 放送ストリーミング情報掲載

### 放送ストリーミング情報【2024No.335】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第4番作品98《ロマンティック》(1878/80年第2稿)

演奏：ダニエル・ハーディング指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55046>

2024年1月21日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。

ハーディングがブルックナー《ロマンティック》を指揮

このコンサートでダニエル・ハーディングが指揮するのは、ブルックナーの交響曲第4番《ロマンティック》。中世の町の塔から聞こえるホルンの音、森のざわめき、狩りの風景……。ブルックナーは、これらのイメージを抱いて生き生きとした色彩溢れる交響曲を作曲しました。前半で演奏されるヴィトマンのヴィオラ協奏曲の独奏を務めるアントワン・タメスティは、その楽器から驚くほどパーカッシブかつ暖かく陰影のある音を引き出します。

このコンサートは、2024年1月20日に没後10年となるクラウディオ・アバドを偲び、彼に捧げられます。

以上の他に下記が演奏されました。

イエルク・ヴィトマン ヴィオラ協奏曲

アントワン・タメスティ(ヴィオラ)

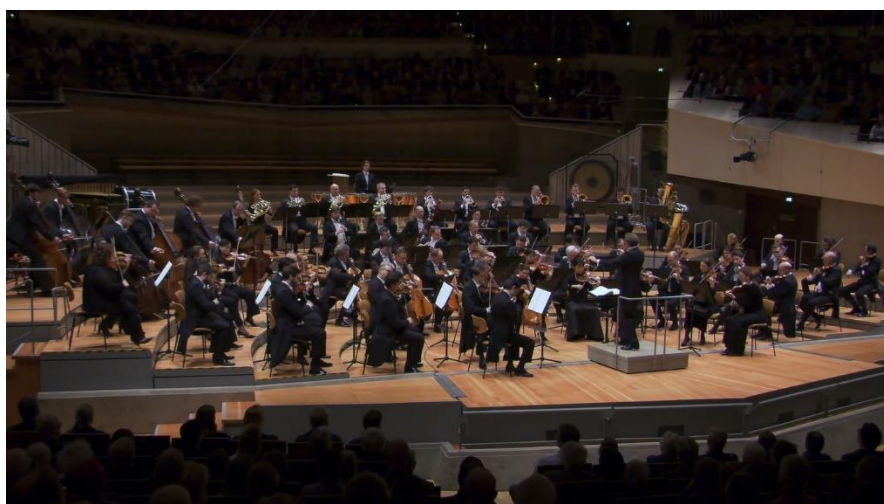
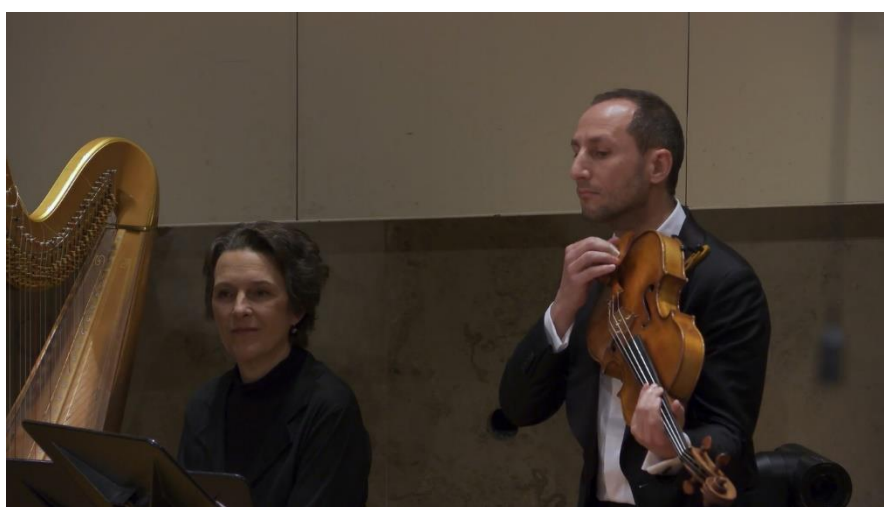


ブルックナーの交響曲第4番《ロマンティック》は、言わずと知れたブルックナーの代表作の一つで、ベーム指揮ウイーンフィルのアナログ盤などで親しんできました。

静かな1楽章の抒情性のある出だしから、さまざま展開を経て、終楽章の壮大な盛り上がりまで、ハーディングが淡々とした指揮ながら、ベルリンフィルの緻密で重層的な音の構成で飽きさせるところがありません。

ヴィトマンのヴィオラ協奏曲は、現代曲のようで、ヴィオラ奏者が胴を叩いたり、ピチカートを多用したり、オーケストラの間移動しながら、各パートと対話したりします。打楽器群やピアノ、ハーブなどの他、チェレスタやバスフルートなども加わります。音楽というよりは、効果音の連続というような不思議な世界を繰り広げます。

オーソドックスなブルックナーから前衛的なヴィトマンまで、複雑な音の構成をLANアキュライザーや Crystal Epl の効果で再現してくれています。



以上